

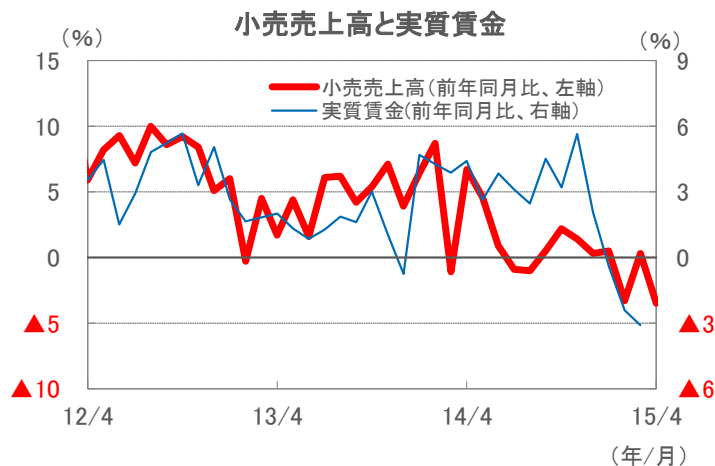
今日のトピック 最近の指標から見るブラジル経済(2015年6月)

利上げによる物価の落ち着きに期待

ポイント1 内外需ともに低迷

物価高や中国の景気減速などが影響

- 4月の小売売上高は前年同月比▲3.5%と、前月の同+0.3%からマイナスに転じました。物価高などにより実質賃金の伸びが今年に入りマイナスになっていることが要因の一つと思われます。
- 4月の鉱工業生産指数は前年同月比▲7.6%で14カ月連続のマイナス、5月の輸出は同▲19.2%で10カ月連続のマイナスと、いずれも低迷が続いています。物価高や利上げによる内需の落ち込みに加え、中国など海外景気が減速していることもあり、景気は低迷が当面続きそうです。

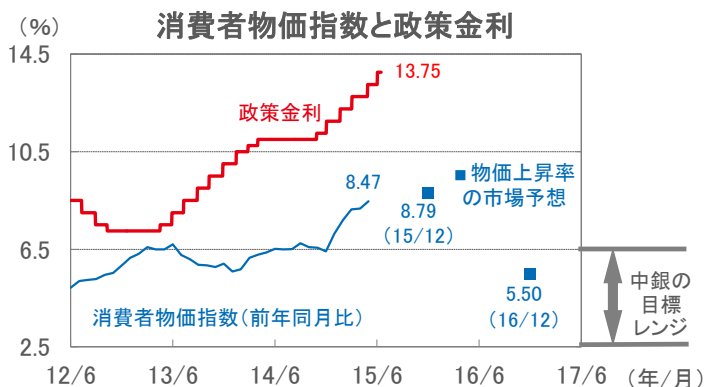


(注)小売売上高は2012年4月～2015年4月。
実質賃金は2012年4月～2015年3月。
(出所)Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 中銀は利上げを継続

物価高の長期化を警戒

- 5月の消費者物価指数は前年同月比+8.47%と、2014年12月の同+6.41%を直近の底に5カ月連続で上昇しました。電気料金の引き上げや干ばつによる食品の値上がりなどが要因となり、物価上昇率はブラジル中央銀行(以下、中銀)の目標(年+2.5%～+6.5%)の上限を上回っています。
- 中銀は、昨年10月から6月まで、6会合連続で政策金利を引き上げ、13.75%としています。中銀は公共料金引き上げの影響が広がり物価高が長期化することを警戒しており、市場では次回会合(7月28日～29日)でも利上げを行うと見込まれています。



(注)政策金利は2012年6月1日～2015年6月16日。
消費者物価指数は2012年6月～2015年5月。
物価上昇率の市場予想は、中銀が6月15日に発表した調査結果。
(出所)Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 政府は中銀の利上げに理解を示しながら、インフラ整備で景気にも配慮

- 政府は5月22日、景気下振れによる税収減少に対応し、支出削減を盛り込んだ修正予算案を発表しました。一方、6月9日には総額約1,984億リアル(名目GDPの3%強)にのぼるインフラ整備計画を発表しました。道路、港湾、鉄道、空港の整備を通じて、緊縮財政による景気下押し圧力を和らげる方針です。
- 景気の低迷と物価高が続くなか、1月に財務相に就任したレビ氏は物価高是正を優先課題としています。政府と中銀は、協力して物価高抑制に取り組んでいます。利上げが奏功して物価が落ち着く場合には、消費や投資の持ち直し期待も強まり、ブラジルリアルは底堅い推移に向かうと思われます。

ここもチェック! 2015年06月17日 「物価高」抑制に腰を据える(ブラジル)
2015年06月04日 ブラジル中銀が6会合連続の利上げ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。